

東洋水産グループ
中間報告書
2022

第75期

[2022年4月1日～2022年9月30日]



Smiles for All.

すべては、笑顔のために。



「笑顔」と「健康」をお届けできる会社を目指して Smiles for All. すべては、笑顔のために。

株主の皆様におかれましては、日頃よりご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
当社第75期第2四半期決算を終えましたので、営業の概況をご報告申し上げます。

いまむら まさなり
代表取締役社長 今村 将也

当中間期の概況(連結)

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にありました。先行きにつきましては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、持ち直しに向かうことが期待されますが、物価上昇や供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応

するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は212,940百万円(前年同四半期比24.9%増)、営業利益は18,978百万円(前年同四半期比28.3%増)、経常利益は20,378百万円(前年同四半期比29.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は15,270百万円(前年同四半期比39.1%増)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の為替換算レートは、144.81円/米ドル(前第2四半期連結累計期間は、111.95円/米ドル)であります。

創業70周年 —これからも笑顔と共に—

今年度より、2023年～25年3月期3カ年中期経営計画が始まりました。需要を引き出す新たな提案として「やわらか食品」市場への参入、健康を軸にした商品の強化など、食を通じた社会課題解決を通じて新たな価値の創造を行ってまいります。

また、当社は2023年3月25日で創業70周年を迎えます。この度、70周年記念ロゴマークとして、当社の活動指針の重点テーマである「5つの笑顔」をモチーフにした「5つの笑顔の花」を制定しました。心と体にやさしい商品をこれからも笑顔と共に届けてまいりますので、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

—70周年記念ロゴマーク—
「5つの笑顔の花」

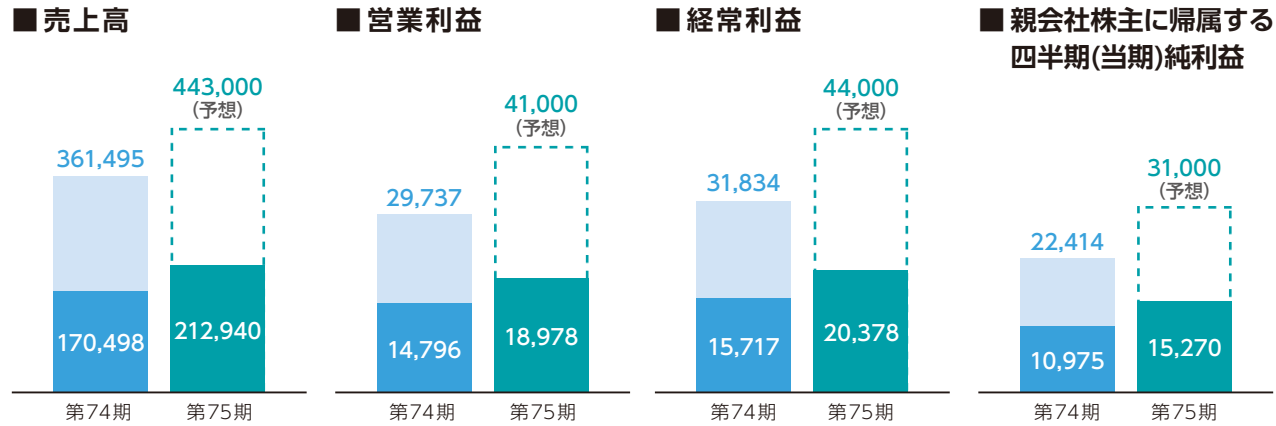


これからも笑顔と共に

第75期第2四半期連結決算報告

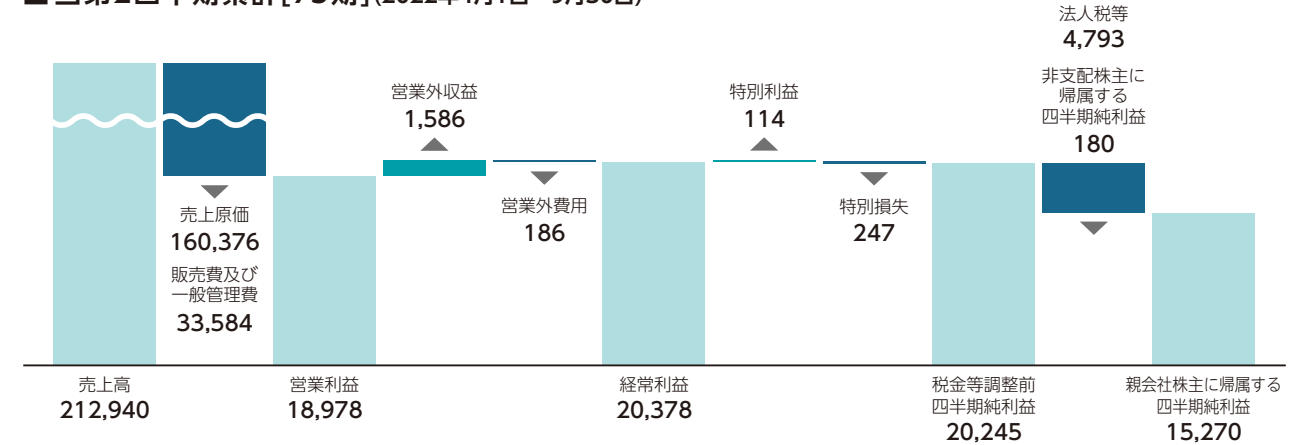
決算ハイライト (単位:百万円)

第74期 第2四半期累計 第74期 通期 第75期 第2四半期累計



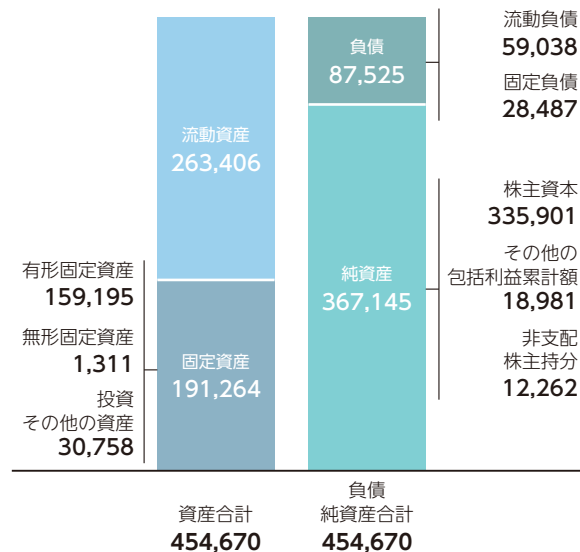
連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

当第2四半期累計[75期] (2022年4月1日~9月30日)

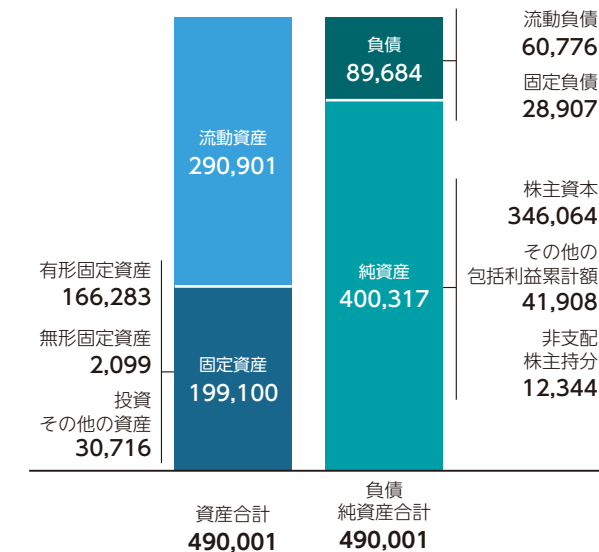


連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

前期末[74期] (2022年3月31日現在)

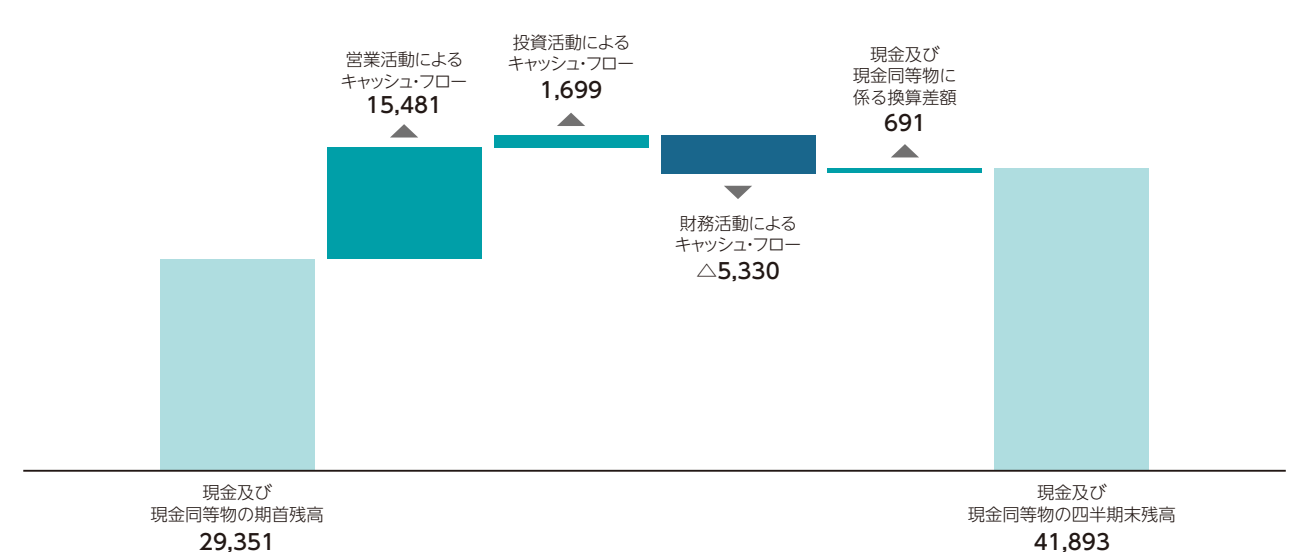


当第2四半期末[75期] (2022年9月30日現在)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)


当第2四半期累計[75期] (2022年4月1日~9月30日)




セグメント別概要

水産食品事業

売上構成比率
6.7%

売上高 **14,300** 百万円 (前年同四半期比 17.9% )

営業利益 **246** 百万円 (前年同四半期比 143.9% )





新型コロナウイルス感染症拡大の影響から経済活動が回復傾向にあること等から、コンビニエンスストア向け商品の販売数量が伸びました。また、各地の前浜事業や銀鮭商品の販売が好調に推移しました。その結果、売上高

は14,300百万円(前年同四半期比17.9%増)、セグメント利益は、仕入コストの上昇があったものの、売上高の増加等の影響により246百万円(前年同四半期比143.9%増)となりました。

海外即席麺事業

売上構成比率
41.6%

売上高 **88,526** 百万円 (前年同四半期比 76.8% )

営業利益 **10,954** 百万円 (前年同四半期比 132.4% )





製造コストの上昇等により価格改定を実施いたしましたが、インフレ率が高水準に推移していることによる節約志向の高まり等から即席麺の需要が高い状況で継続し、米国は袋麺では主力商品「Ramen」シリーズが増収となり、カップ麺では主力商品の「Instant Lunch」シリーズを始め、「Yakisoba」シリーズ「Bowl」シリーズも好調に推移したことで増収となりました。メキシコにおいても、主力商

品のカップ麺、袋麺ともに好調に推移したことにより増収となりました。その結果、売上高は88,526百万円(前年同四半期比76.8%増)、セグメント利益は、主原料価格高騰による原材料費増加や人件費増加等による製造コストの上昇がありましたが、販売数量増加や価格改定効果による売上高増加等により10,954百万円(前年同四半期比132.4%増)となりました。

国内即席麺事業

売上構成比率
20.3%

売上高 **43,211** 百万円 (前年同四半期比 0.5% )

営業利益 **2,669** 百万円 (前年同四半期比 44.6% )





6月の価格改定後に猛暑も重なり夏場の販売に苦戦したものの、8月以降は回復傾向に転じました。そのような中、カップ麺では発売30周年を迎えた「麺づくり」シリーズを9月にリニューアルし、好調な販売となったものの、カップ麺全体では減収となりました。袋麺では4月に新発売した

「マルちゃんZUBAAN!」シリーズが引き続き好調に推移し、増収となりました。その結果、売上高は43,211百万円(前年同四半期比0.5%増)、セグメント利益は、広告宣伝費、動力費の増加等により2,669百万円(前年同四半期比44.6%減)となりました。

低温食品事業

売上構成比率
12.8%

売上高 **27,190** 百万円 (前年同四半期比 1.5% )

営業利益 **3,193** 百万円 (前年同四半期比 10.4% )




製造コストが上昇する中、安全・安心で高品質な商品を安定的に供給するため、生麺、冷凍麺等の価格改定を4月に実施いたしました。そのような中、生麺では主力商品の「マルちゃん焼そば3人前」シリーズ「マルちゃんの冷し生ラーメン3人前」シリーズ「マルちゃん北の味わいざるラーメン」シリーズを

中心に拡売に努めました。冷凍麺は市場の回復により、外食向けや事業所給食向けの業務用商品が伸びました。その結果、売上高は27,190百万円(前年同四半期比1.5%増)、セグメント利益は、原材料費や動力費等の増加の影響により3,193百万円(前年同四半期比10.4%減)となりました。

加工食品事業

売上構成比率
4.5%

売上高 **9,573** 百万円 (前年同四半期比 3.9% )

営業利益 **354** 百万円 (前年同四半期比 △68百万円)





フリーズドライ商品では昨年より引き続き需要の高い状況が継続しており、主力商品である「素材のチカラ」シリーズを中心に好調に推移したことにより増収となりました。米飯も同様に需要の高い状況が継続しており、無菌米飯、レトルト米飯とも好調に

推移し、増収となりました。その結果、売上高は9,573百万円(前年同四半期比3.9%増)、セグメント利益は、動力費の増加はあったものの、売上高の増加や人件費の減少等の影響により354百万円(前年同四半期比はセグメント損失68百万円)となりました。

冷蔵事業

売上構成比率
5.5%

売上高 **11,632** 百万円 (前年同四半期比 3.4% )

営業利益 **1,204** 百万円 (前年同四半期比 5.8% )





新型コロナウイルス感染症拡大の影響による混乱から経済活動の正常化が進んだことにより、業務用商品を中心として保管需要が増加しました。また、国際的な物流の遅延等も徐々に落ち着きを見せ、通関の取扱いも堅調に推移しました。その結果、売上高は11,632百万円(前年同四半期

比3.4%増)、セグメント利益は、売上高増加による増益はありましたが、原油価格の大幅な上昇の影響を受け、動力費等の経費が増加する中で、冷蔵倉庫料金の価格改定にも取組みましたが、コスト増加分を補う事が出来ず1,204百万円(前年同四半期比5.8%減)となりました。

その他

売上構成比率
8.6%

売上高 **18,505** 百万円 (前年同四半期比 2.5% )

営業利益 **806** 百万円 (前年同四半期比 8.5% )

主に弁当・惣菜事業です。売上高は18,505百万円(前年同四半期比2.5%増)、セグメント利益は806百万円(前年同四半期比8.5%増)となりました。

麺づくり 30th Anniversary

30周年、更なる進化へ

ノンフライカップ麺「麺づくり」シリーズが今年発売30周年を迎えました。30周年を記念して6種のフレーバーを一斉リニューアル。更に今年9月、「旨豚中華そば」を新たに発売しました。

リニューアルのポイント

つるとなめらか麺 × 香り立ちスープ

生麺食感を更に追求!

つるっと食感

おんすい

温水なめらか製法

- ✓ つるっと感、なめらかさUP!
- ✓ ほぐれやすさUP! ✓ 透明感UP!

“食欲そそる香り”をプラス!

新・香り立ちスープ

環境対応も!

カップ容器の大きさを変更して年間36トンのプラスチック原料、174トンの紙の原料を削減!

※2021年度の「麺づくり」シリーズの製造数を元に算出。
※中身の量は従来品と変わっていません。



マルちゃん 焼そば

ロングセラーフレーバーが続々!

おなじみの「マルちゃん焼そば3人前」に加えて、お客様からご好評を頂き、ロングセラー商品に成長しているフレーバー2種をご紹介します。

おかげさまで
20周年



塩

おかげさまで
10周年



お好みソース



ソース

他フレーバーも好評!



ナポリタン味



たらこ味

「至福の食卓 マルちゃん焼そば」シリーズも好評!

「いつもよりこだわった大人の味わい」をコンセプトとして2020年2月に発売した当シリーズが、2食焼そばブランドにおけるシェアで購買No.1を達成しました*。本格感のあるソース、そしてソースとの相性で「太麺・細麺」を使い分けるこだわりがお客様の支持を集めています。



※インテージSCI(15~79歳)生麺・ゆで麺市場(種類:焼そば、食数:2食)
期間:2021年4月-2022年9月 金額ベース

期間限定

2食焼そばブランド購買No.1



ラインアップ



鶏ガラ醤油



合わせ味噌



旨コク豚骨



鶏だし塩



担担麺



醤油とんこつ



旨豚中華そば

海外即席麺事業 アメリカ現地生産開始45周年!

記念パッケージ商品を発売

アメリカ現地法人MARUCHAN,INC(マルチャンインク)が1977年3月に工場を稼働し、袋麺・カップ麺の現地生産を開始してから今年で45周年。現地では記念パッケージ商品を発売するなど、アニバーサリーイヤーを盛り上げています。今後も増産投資を継続し、更なる市場拡大に向けて取り組んでまいります。



袋麺

カップ麺

環境・健康に配慮した商品の展開

Select

- カップ容器に紙を使用。
- 電子レンジ調理可能。
- 減塩25%。(当社既存品比)
- 野菜かやく増量。(当社既存品比)



チキン味



ホット&スパイシーチキン味



アメリカ

メキシコ



メキシコでも!

メキシコ現地法人MARUCHAN DE MEXICO, S.A. DE C.V.(マルチャンデメヒコ)でも、今年から「Select」シリーズの販売を開始しました。



チキン味



ビーフ味

袋麺でも減塩25%
(当社既存品比)の
商品を展開中。

すべては、笑顔のために。

東洋水産グループは、持続的な成長に向け、「食」を通じた「5つの笑顔」の実現を目指しています。その中から、子どもたちの健やかな成長をサポートする「次世代に笑顔」の取り組みの一部をご紹介します。

東洋水産グループが実現を目指す「5つの笑顔」

お客さまに笑顔	地球に笑顔
社会に笑顔	社員に笑顔
PICK UP 次世代に笑顔	Smiles for All. すべては、笑顔のために。

関東工場

3年ぶりの「マルちゃん夏休み親子工場見学会」開催



「マルちゃん夏休み親子工場見学会」を開催し、2日間で18組59名のご家族にご参加頂きました。前半は、関東工場の紹介と見学通路からの製造ラインの説明の他、工場近隣の自然環境を再現したビオトープの見学会を行い、

後半は、だしの役割や旨味の相乗効果、「赤いきつねうどん」の4種のかゆのの違いなどを学ぶ食育講座「だしの秘密」と、好きな具材とつゆを組み合わせる「オリジナルカップ麺づくり」を実施しました。

八戸東洋株式会社

青森県八戸市内の中学校でキャリア教育授業を実施

キャリア教育の一環として、中学2年生23名を対象に出張授業を実施しました。「たまごスープ」の製造工程やフリーズドライの仕組みについて工場での製造の様子を撮影した動画を交えた講義と、好きな具材

を入れて作る「オリジナルフリーズドライスープづくり」の2部構成で実施。質疑応答ではフリーズドライに関する質問の他、「仕事のやりがいや目標」「就職した理由」などの質問を受けました。



会社・株式データ

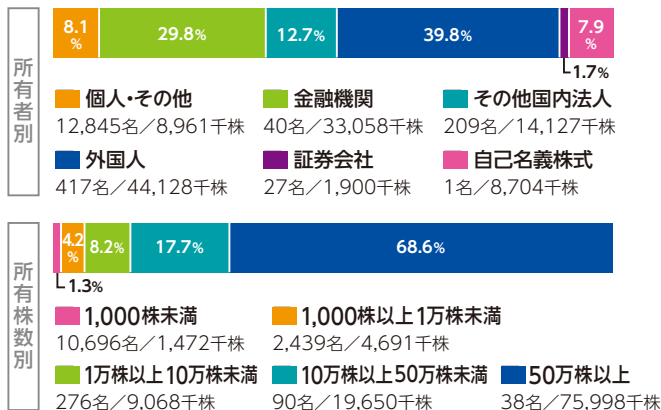
会社概要(2022年9月30日現在)

社名	東洋水産株式会社 Toyo Suisan Kaisha,Ltd.
創立	1953年3月25日
資本金	189億69百万円
従業員数(連結)	4,853名
本社	〒108-8501 東京都港区港南2丁目13番40号 TEL. 03-3458-5111(代表)
創業者	森 和夫
代表者	会長:堤 殷 社長:今村 将也
事業所数	工場 7、冷凍冷蔵庫 17、支店・営業所 28
グループ会社	31社(海外9社含む)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	期末配当は3月31日 中間配当を行う場合は9月30日
公告方法	電子公告 ただし電子公告できない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。 アドレス https://www.maruchan.co.jp/
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL. 0120-782-031(フリーダイヤル)
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所(プライム市場)

株式分布状況



(注)株数は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

株式に関する各種手続きについて

- 住所変更、単元未満株式の買取、配当金受領方法の指定等
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 特別口座から証券会社の口座への振替申請
特別口座の株式については、単元未満株式の買取請求を除き売買ができません。売買を行う場合は証券会社の口座への振替が必要になります。お手続きの詳細は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払請求
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。